

福岡市 Well-being & SDGs 登録制度：マスター

事業者名	国立大学法人九州大学
所在地	福岡市西区元岡 744 番地
市内拠点所在地	(所在地が市外の場合のみ記載) —
業種	教育、学習支援業
電話番号	092-802-2448
ホームページ	https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/

Well-being 向上 に向けた取組み	持続可能な社会の発展と人々の多様な幸せ（＝well-being）を実現できる社会に貢献することを掲げた指定国立大学法人構想において、知の拠点として地域社会やグローバル社会と共生・共創し、研究教育活動を通して社会の持続可能な発展と人々のウェルビーイングの向上に貢献することを宣言し、学内だけでなく社会全体に向けた取組みを実施している。		
アンケート実施	○	アンケートの社内共有	○

カテゴリー	チェック項目	3側面該当			具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs																
		環境	社会	経済		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
人権・労働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境を整えている。		○	○	「九州大学 ダイバーシティ、エクイティ & インクルージョン推進宣言」により、本学を構成するすべての職種と職位において国籍、性別や年齢の区別なく、多様な価値観やライフスタイルを持つ人材の雇用・登用を促進し、経営視点、国際視点やエクイティ視点を大学運営に活用する環境の構築に取り組んでいる。						○		○	○								
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。		○	○	・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入するなど、柔軟な勤務形態をとっている。 ・治療や介護、子育てと仕事の両立を支援する制度を導入している。						○		○	○								
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。		○	○	「九州大学ハラスメント対策推進室」を設置し、ハラスメントに対する相談対応の他、人権問題やハラスメントの防止について研修を実施している。						○		○	○							○	
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。		○	○	・長時間労働を是正するための具体的な取組みを行っている。また、長時間労働等を行った職員に対し、産業医による面接指導を実施している。 ・職員に対し年1回ストレスチェックを実施し、高ストレスと判断された者へ産業医による面接指導を案内している。 ・メンタルヘルスに関する研修を実施している。 ・不妊治療と仕事の両立支援を行っている。						○		○	○								
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。		○	○	・職位に応じた「階層別研修」、文部科学省などの関係機関への「派遣研修」、能力開発を促進するための「テーマ別・職能別研修」等の様々な研修の機会を提供している。 ・本学の学生に対して基幹教育科目(初年次教育科目)として「九大インターンシップ」を提供している。						○	○		○	○							
環境	【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】 ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	・古紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池等について、分別回収ボックスの適正配置等により、ごみの分別を徹底している。 ・不要になった備品や物品等を大学内で有効活用するために「九大リサイクルシステム」を運用している。					○		○			○	○		○				
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○	○	○	・クール/ウォームビズによる冷暖房の使用抑制など、エネルギーの効率的な利用を行っている。 ・大学内に設置している太陽光発電設備及び風力発電設備の発電量を計測し、消費量とともに可視化することで啓発に寄与している。							○				○	○					
環境	【生物多様性、天然資源への配慮】 ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○	○	○	・本学伊都キャンパスでは保全緑地を設け、野生動物や生態系保全のために取り組んでいる。 ・森林の保全活動、地域・河川・海岸の清掃など、生物多様性の保全に関する環境学習やイベント等を支援・実施している。 ・福岡市西区と本学の間で覚書を締結し、地域の農家が生産した農産物等をキャンパス内で販売する事業を通して地産地消の促進に取り組んでいる。						○					○	○	○	○			
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○	○	○	・メインキャンパスの移転に伴い、節水対策設備が設置された建築基準に沿った建築設計がされている。 ・伊都キャンパス内に給水センターを設置し、キャンパス全体に上水と実験及び生活排水を処理した再生水を配水している。						○											
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。	○	○	○	・「教育における安全の指針」を作成し、教育・研究活動における安全管理の向上、再発防止及び安全意識の向上に取り組んでいる。					○						○						
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	・知の拠点として地域社会やグローバル社会と共生・共創し、研究教育活動を通して社会の持続可能な発展と人々のウェルビーイングの向上に貢献するための体制を構築している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業慣行・組織体制	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。		○		・職員に対して定期的に個人情報保護研修を行い、情報管理のルールを周知徹底している。 ・個人情報などの保護に関する方針を策定している。 ・情報システムへのセキュリティ対策を施している。																○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。		○		・法令遵守に関する研修等により、法令遵守の徹底及び意識向上を図っている。 ・学内規則の整備等により、法令遵守に関する管理責任体制を整えている。																○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。			○	・「Kyushu University VISION 2030」を策定し、今後10年間の本学の方向性、方針を明文化し、共有している。									○	○							○
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	・危機管理・災害対策の方針・マニュアルを策定している。 ・緊急連絡網を作成し、緊急時の連絡体制を整備している。										○	○		○				○